

1 調査結果の概要

（1）児童質問紙（小学校6年生対象）

全国値と比べ顕著な差があった項目

（「当てはまる」「どちらかという当てはまる」等の肯定的な回答の割合の差が5ポイント以上あった項目）

※①は「当てはまる」と回答した割合の全国値との差（ポイント）、②は「どちらかという当てはまる」と回答した割合の全国値との差（ポイント）

【プラス項目】

「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。」 (①+3.6、②+3.8)

「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」 (①+10.4、②+0.8)

【マイナス項目】

「友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか。」 (①-7.4、②-1.4)

「家で、学校の授業の予習をしていますか。」 (①-7.4、②-2.3)

「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。」 (①-5.1、②-1)

「新聞を読んでいますか。」 (①-5.6、②-1.1)

『総合的な学習の時間』では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」 (①-7.3、②+1.3)

「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか。」 (①+0.8、②+9.5)

「算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか。」 (①-9.3、②+1.3)

（2）生徒質問紙（中学校3年生対象）

全国値と比べ顕著な差があった項目

（「当てはまる」「どちらかという当てはまる」等の肯定的な回答の割合の差が5ポイント以上あった項目）

※①は「当てはまる」と回答した割合の全国値との差（ポイント）、②は「どちらかという当てはまる」と回答した割合の全国値との差（ポイント）

【プラス項目】

「家の人は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか。」 (①+19.3、②-9.9)

「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか。」 (①-0.2、②+8.6)

「今住んでいる地域の行事に参加していますか。」 (①+2.2、②+6.4)

『総合的な学習の時間』の授業で学習したことは、普段の生活や社会に出たときに役に立つと思いますか。」 (①+2.8、②+5.1)

「2年生のときに受けた授業のはじめに、目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか。」

(①+12.9、②-5.7)

「2年生のときに受けた授業の最後に、学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか。」

(①+2.3、②+10.2)

「国語の勉強は大切だと思いますか。」

(①+6.3、②-1.1)

「国語の授業の内容はよく分かりますか。」

(①-2.2、②+9.8)

「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」

(①+12.4、②-5.7)

「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか。」

(①+4.6、②+1.1)

【マイナス項目】

「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。」

(①-3.2、②-2.5)

「将来の夢や目標を持っていますか。」

(①-10.2、②-0.8)

「家で、学校の授業の予習をしていますか。」

(①-3.5、②-2.4)

『総合的な学習の時間』では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」

(①-5.3、②-3.3)

「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか。」

(①+6.3、②+0.8)

「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いていますか。」

(①-6.5、②-0.8)

2 児童・生徒質問紙の調査結果をふまえて

- 小学校6年生、中学校3年生ともに、「家で、自分で計画を立てて勉強している」割合が高く、学校と家庭が連携した家庭学習の様子がうかがえる。
- 小学校6年生、中学校3年生ともに、「今住んでいる地域の行事に参加している」割合が高く、児童生徒と地域との結びつきが強いことがうかがえる。
- 小学校6年生の回答で、「友達に伝えたいことをうまく伝えることができますか。」「『総合的な学習の時間』では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」が、全国値と比べ肯定的に回答した児童の割合が低い。また、中学校3年生の回答で、「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか。」「『総合的な学習の時間』では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか。」が、全国値と比べ肯定的に回答した生徒の割合が低いことは、授業の中で資料等を使って説明する活動の充実が求められていることがうかがえる。改善がなされれば、「学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しい」と感じている児童の割合が少なくなり、表現力の向上につながることが期待できる。
- 「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか。」「新聞を読んでいますか。」の質問について、肯定的に回答している児童の割合が低いことから、児童の生活や学習と社会で起こっている出来事とをつなげる指導の工夫が求められる。
- 中学3年生は、教科・領域の学習が将来社会に出たときに役に立つと感じている生徒の割合が高く、学習の必要性を十分感じていることがうかがえる。授業の中で、学習の有用性を感じさせることができている成果といえる。